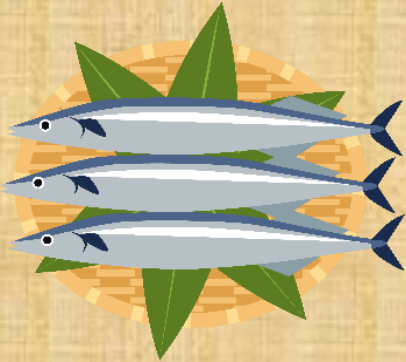


きしくまちづくり

新聞



1

【特集】

地域のためにあなたができる 小さなこと。

●支え合いのまちづくりとは・・・



INDEX

- 1p 表紙
- 2p 特集 地域のためにあなたができる小さなこと。
- 3p シリーズ「岐宿町ってどんなまち?」
頑張っているひと、こと、などなど
- 4p みんなのページ～地域のなんでも掲示板～

●支援員のちょこっとコラム● 今回は「方言です」



「おーじょこーじょした」「おーじょした」

もう若い人は使わなくなったこの言葉。標準語で言うところの「困った」「参った」「弱った」でしょうか？
どちらかと言うと、人に迷惑なことをされた時に使うことが多いのかなと思いますが、違うかな？最近では若い親世代が方言を使わなくなり、その子供も必然的に方言を話さなくなりました。じいちゃんばあちゃんとの2世帯住宅が減ったことも要因なのかなと思います。方言には、標準語では言い表せないニュアンスを伝えてくれるものもあります。でもそれは方言を話す人にしか感じないことなのかも知れません。

今回から生産年齢人口を載せてみました。特集でも書いていますが、働き盛り一人が高齢者一人を支える社会はもう目の前に来ています！



◆岐宿町の人口 (9月末現在)

※ () はR1.7月 (前回発行月) 比
 男性：1,479人 (±0) <平均年齢52.0歳
 女性：1,693人 (-5) <平均年齢57.9歳
 合計：3,172人 (-5) <平均年齢55.2歳
 世帯数：1,677世帯 (-5)
 高齢化率：42.18%

0歳～14歳：295人
15歳～64歳：1,539人 (生産年齢人口)
65歳以上：1,338人

* 高齢化率とは・・・
65歳以上の高齢者人口
総人口に占める割合のこと。

【特集】 地域のために、あなたができる小さなこと。



人は「誰かの役に立っている」と思うことで、幸せを感じると言います。世のため人のため、でもそれって結局は自分のためでもあるんです。今は自分で何でもできていても、いずれできなくなる時が来る。その時に安心して住んでいられる地域であるために、今自分にできる小さなことを一緒に考えてみませんか？

2

◆助け合いのまちづくり加速中！

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で(自宅で)暮らし続けるために、今五島市は各課が連携し、地域の関係機関や民間の団体、民生委員など交えた会議を行ったり、各地で「座談会」を開き、実際にそこに暮らす高齢者が本当に困っていることは何なのか、どうやって解決していったらいいのか、生の声を聞き、「一緒に考える」ということをしています。岐宿町でも、SC(生活支援コーディネーター)が半年前から地域に出向いて聞き取り調査をし、それをもとに9月に山内で1回、9月から10月にかけて川原地区3か所で3回ずつミニデイにおじゃまする形で座談会を行いました。困っていることで一番意見が多かった、買い物や通院のための「移動」については、市役所の担当職員や五島バスの職員に来てもらい「乗合バス」や「高齢者フリーパス」の利用法など詳しく説明してもらいました。そのほかにも、「診療所送迎車の待合場所にベンチがあったら」

「大がかりな草払いが辛い」「台風前後の雨戸の開け閉めが大変」

「防災無線が聞こえないので不安」などの声があったので、SCと共同で

地域みんながほんの小さな「助け合い」のできるしくみを考えていく予定です。

◆どうして今そんなことしているの？

ちょっと整理してみましょう

2000(平成12)年に介護保険制度が創設され、昔のように家族にだけ介護の負担がかかることはなくなりました。その後平成27年4月に制度の改定があり、要支援者の訪問介護やデイサービスを市町村の地域支援事業に移行するための見直しが行われました。(その受け皿として※地域ミニデイは平成25年からスタートしています)しかし今後高齢化とともに少子化も進み、要介護人口が増える一方、それを支える若者が減少していくことが予想されています。岐宿町の人口を見ても、65歳以上の高齢者が1,338人に対しそれを支える生産年齢人口が1,539人。ほぼ一人を一人を支えなくてはなりません。このままでは税収が減少するのに社会保障費は増大し、介護保険や医療保険などの公費だけで高齢社会を支えるのには無理が生じてきます。さらに団塊の世代が75歳以上になる2025年以降は、単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加することが予測され、医療や介護の需要もさらに加速することが目に見えています！

◆そこで登場したのが、「地域包括ケアシステム」！

地域包括ケアシステムとは、少子高齢化に対応するために国が進める政策の柱。2025(令和7)年を目途に整備が進められていて、重度な要介護状態になっても高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制を目指しています。五島市でも民生委員、老人クラブ、社会福祉協議会、介護サービス事業所、ボランティア団体等と連携しながら、円卓会議や勉強会、各地域での座談会を行い、外出や買い物支援、家事援助、声かけや安否確認、サロン活動や地域ミニデイなど、公的機関に頼らずとも、地域のすべての世代で支え・支えられる「助け合いのまちづくり」のしくみを地域の方と一緒に考える取り組みをしています。

へっ？これはひとごとじゃないぞ！

岐宿町にもそんなしくみができたら安心ですよ。



●シリーズ「岐宿町ってどんなまち？」

～知っているようで知らない自分の町のこと～

今回も岐宿町で頑張っているひと、こと、などなど

実は岐宿町にも、「助け合いのまちづくり」をもう10年も前から頑張っている小さな組織がありました。「白石海鼠(ナマコ)会」!!この団体の活動内容をご紹介しますと思います。

3



◆いつ、どうして結成されたの？

川原の白石地区、人口76名のこの小さな集落でも、代々受け継がれてきたお正月の獅子舞は、年に1度盛大に盛り上がる住民の楽しみでした。不幸があると参加できない獅子舞。10年ほど前、3年続けて実施ができなくなったことがありました。地域全体が元気がなくなったように感じた白石の若者たち数名が「このままではいけない」と立ち上がり、獅子舞以外でも地域を盛り上げる活動をしようと結成したのが「白石海鼠会」。年間を通し行われる地区全域の草刈り作業、葬儀への協力、祭りの運営など、住民の「助かる」活動以外にも、お花見会、お盆に墓地で「かき氷」のふるまい、白石公園のクリスマスイルミネーション点灯など、住民が「笑顔になる」活動まで幅広く取り組んでいます。現在会員は17名。20代から60代の働き盛りの男性ほぼ全員(出身者も含む)が加入していて、会のモットーは「けんかをしない!」三井楽のペーロン大会にも10回連続で出場するなど、会自体の親睦も大事にしているのが存続の秘訣なのかもしれません。*海鼠会の名前は、会立ち上げの話しを飲みながらして寝てしまった会員たちがゴロゴロと転がっているのが、まるでナマコのようにだったことからそう名付けたそうです。笑

◆敬老のお祝いも住民全員で!

先日、このナマコ会が中心となって行われた「白石地区敬老会」におじゃましてきました。今まで川原地区全体で行われていた敬老会が今年度から各町内会単位となり、白石町内会では初めての敬老会の開催です。対象者22名のうち、当日体調不良で1名の欠席があった以外は全て参加。また白石地区に住む子供から大人、白石出身者までが集い、会場となった公民館は熱気であふれていました。初めに子供たちの名前を一人一人紹介し、二人しかいない小学生のうちのひとり、6年生の橋本さんがおじいちゃんおばあちゃんへ心のこもったあいさつ。全部が手作りの祝い膳、獅子舞やカラオケ、ビンゴゲーム、じゃんけん大会とプログラムも盛りだくさん。最高齢92歳のおばあちゃんも「おてもやん」を踊りだしたり、ゲームではみな童心に返ったようにはしゃいだり、笑いの絶えない本当に楽しい敬老会でした。後日おじゃました座談会でも、早速飾られた集合写真を眺めながら「こんなにしてもらって幸せよ～」とロクにおっしゃっていました。この白石の敬老会は、ナマコ会が除草作業を請負うなどして資金に充てたそうで、これこそ理想の「まちづくり」ではないかな?と感じました。



うちの地区でもこんなことやってるよ～という情報があったら教えてくださいね!



●今年度上半期に終了したまち協事業↓

- ◇岐宿小学校運動会で岐宿町を盛り上げよう事業(5月20日)
- ◇魚津ヶ崎公園～浜田海水浴場一帯清掃事業(6月16日)
- ◇巖立神社例大祭の村まわり事業(9月15日)
- ◇岐宿中学校体育大会で岐宿町を盛り上げよう事業(9月24日)
- ◇百合愛自園コミュニティ運動会(9月28日)
- ◇街路灯設置事業(4月～8月) ◇敬老事業(9月～10月)
- ◇五島市岐宿町体育祭(10月13日)

●まち協で事業やりませんか?

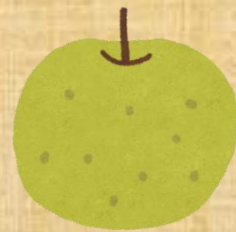
今年度の約3分の1の事業が終了しました。下半期も地区のペタンク大会や、ジオパーク学習会など計画されています。岐宿まちづくり協議会では、やる気のある団体のまちづくり事業を随時募集しています。皆さんのアイデアで岐宿町をもっと元気にしましょう! *問い合わせ、ご相談は、集落支援員(泉井)まで!!

●みんなのページ●

～地域のなんでも掲示板～



お知らせや募集、岐宿ニュースなどなんでもかんでものページです



4

●五島南高校の海岸清掃とゴミの研究を一緒にやりませんか？

前回の新聞でご案内している五島南高校の事業の今後のスケジュールです。

11月1日(金)13:30～浜田海水浴場

12月6日(金)13:30～打折海岸

12月13日(金)13:30～浜田海水浴場

※時間、場所は変更になる場合がありますので、五島南高校HPをご覧になるか、電話で確認をお願いします。

●子育てママさんへのアンケートを予定しています。

岐宿町は子育てしやすい町なのか、またどんな町だと子育てしやすいと思うのか教えていただき、今後のまづくりの参考にできたらと考えています。

そこで、3歳以下のお子さんをお持ちの子育て中のママさんへ簡単なアンケートを予定しています。「同じ町の同じ悩みを持つママさん同士の集まりがあったらいいな」とか、「子連れでも行ける料理教室があったらいいな」など、多様なご意見をお待ちしています。

封書が届きましたらお時間のある時にご記入いただき、返信用封筒にて返信いただけたらと思います。

どうぞよろしくお願いいたします！



●城岳まんじゅう情報求む！

昔、岐宿には平野さんというお菓子屋さんがあって「城岳まんじゅう」を作っていたと聞きました。いつか復活できないかなあと今更しサーチをしています。

写真を持っている方、作り方を知っている方、そのほか何か情報をお持ちの方がいたら、ご連絡下さい！



●水ノ浦漁港にイカダ出現！

水之浦漁港に「釣りイカダ」ができました。

これは岐宿の漁業集落、岐宿漁協、県と市の水産課が力を合わせ完成したものです。

今後、修学旅行生の釣り体験や、一般の方にも利用できるようになります。湾内での釣りは比較的安心ですし、トイレも完備しておりますので、女性や小さなお子さんでも楽しんでいただけたらと思います。

料金設定など決まりましたらまたお知らせいたします。お楽しみに～！



●イベント情報！！

岐宿町文化祭

作品の部：11月2日・3日 9:00～17:00

盆栽、工芸、手芸、書道、写真、園児・児童の作品など多くの展示があります。

演芸の部：11月3日 13:00～

楽器演奏、舞踊、フラダンス、カラオケ、キッズダンス、民謡・三味線などを予定しています。



認知症フォーラムinきしく

10月10日に開発総合センターで第1回目が行われましたが、50名以上の参加があり大盛況でした！

まだ行かれてない方ぜひ！

11月7日(木)山内分館13:30～

11月21日(木)川原分館13:30～



第37回八朔ロードレース

五島市全域からの参加がある人気のロードレースです！昨年は330名の参加がありました。

12月8日(日)受付8:50～ スタート10:00～

申込期限は11月8日(金) 82-1111まで！

岐宿町産業祭

地元製品の販売や出店もあります！

肉、魚、出店者提供賞品などが当たる抽選会、みんな大好き餅まきもあります！

ぜひお誘い合わせて遊びに来てください。

12月中旬予定



●編集後記

皆さんこんにちは。朝晩はめっきりさむくなりました☹️

今年もあと2か月で終わりですね。1年で本当に早いものです。これからどんどん寒くなりあつという間に冬になります。寒いのはイヤですが、鍋が美味しいので楽しみでもありますね。年末にかけて飲酒の機会も多くなると思います。くれぐれも飲み過ぎに注意してください。そして皆さんインフルエンザにもお気をつけて～！次回には来年の1月発行を予定しています。今回も読んでいただきありがとうございました。

